

まちのわだい

親と子のふれあい劇場が 開催されました

2月4日、中央公民館講堂において、青少年相談員協議会、子ども会育成会主催による親と子のふれあい劇場が開催されました。

当日は、劇団トマト座による「ピノッキオの冒険」が上演され、悪天候にもかかわらず、約200名の親子が来場し、楽しく鑑賞しました。

劇中、劇団員の方たちが扮した色々な動物たちや、様々に変化する舞台装置を楽しみながらも、劇の根幹である家族の絆の大切さについて理解を深め合っている様子でした。



東西小学校で交通安全教室が 開催されました

2月15日、五霞東・西小学校において交通安全教室が開催されました。当日は、境警察署、交通安全協会、交通安全母の会の協力により、4月から4年生になる児童を対象に、自転車の正しい乗り方の実技講習や交通安全についての講話が行われました。

また、講習の合間に衝突実験用ダミー人形を用いた衝突実験を実施し、子どもたちは交通事故の怖さと交通ルールを守る事の大切さを再確認していました。

交通事故を無くすためにも、交通ルールを守り、正しい自転車の乗り方をしましょう。



人権・同和問題・男女共同参 画講演会が開催されました

2月17日、ふれあいセンターホールにおいて、平成18年度の人権・同和問題・男女共同参画講演会が130余名の参加者のもとで開催されました。

講師は、ドイツ文学翻訳家・口承文芸研究家で「世界がもし100人の村だったら」の著者であります、池田香代子先生で、「100人の村あなたもここに生きています」と題してのご講演でした。

講演では、世界の貧しい国を訪問された時のビデオ上映や朗読などにより、心にとどくお話をされ、世界からみた、私たちの住んでいる日本がいかに裕福であるか無駄な行為をしているか、また、これから私たち個人が何をしていけば良いのかを深く考えさせられた講演でありました。



県民健康づくり表彰式が 開催されました

2月19日、県庁において平成18年度健康づくり推進事業功労者表彰式が行われ、本町から松本光代さんが県知事より、小林美智子さんが県保健福祉部長より表彰されました。

松本さんと小林さんは、食生活改善推進員として、生活習慣病予防食の普及や児童、生徒への郷土食伝承など、食を通して地域住民の健康づくりに貢献されています。

その功績が認められ今回の表彰となりました。

